

## —ユニセフ出前授業(オンライン授業も行っています)—

千葉県ユニセフ協会では、困難な状況の中で生活している世界の子どもたちの現状や、ユニセフの取り組みについてなど県内の幅広い方々に向けて出前授業を行っています。ユニセフについてはもちろん、国際理解を深めるきっかけとして、ぜひご活用ください。

### 出前授業テーマの一例

- 世界の子どもたちの現状とユニセフの活動を知る
- SDGs「持続可能な開発目標」について理解を深める
- 子どもの権利条約について学び、人権について考える
- ひとりひとりができること・・・ボランティア体験  
(使用済み切手切り、外国コイン仕分け)

### 出前授業の実施先例

- 幼稚園、小学校、中学校、高校、大学
- ボーイスカウト、ガールスカウト、子供会などの子どもが参加する団体
- サークル活動や自治会などの大人が参加する団体
- 自治体・企業・団体等が行う研修 など

### 〈事例紹介〉

#### 成田市生涯大学院

毎年、成田市生涯大学院から依頼を受け出前授業を行っています。成田市生涯大学院での授業プログラムの紹介と、参加して下さった方2名の方からの感想を紹介いたします。

#### プログラム

- 10:00 ~ 10:15 あいさつ  
世界の現状について(ウクライナ)
- 10:15 ~ 10:30 DVD「ユニセフと地球のともだち」
- 10:30 ~ 10:45 「水」の話
- 10:45 ~ 11:00 地雷の話
- 11:00 ~ 11:10 休憩
- 11:10 ~ 11:50 ワークショップ 地球の食卓
- 11:50 ~ 12:00 まとめ ボランティア活動について

### ワークショップ「地球の食卓」 取り組むみなさん



感想を  
寄せていただきました



### 「ユニセフ」について

Unicef(ユニセフ)と云う呼び名を何年振りに耳にしただろうか?と改めて思う程、私個人としては、遠い存在に思える団体の名前である。ご存じの方も多いと思いますが、ユニセフとは「国際連合児童基金」の略称で、世界中の子ども達の「命」と「健康」と「未来」を守る為に活動している「国連」の機関の(一 ひとつ)である。「ユニセフ」は、第二次世界大戦後の1946年に国連の総会で作られた機関である。その目的は戦争で被害を受けた子ども達を助ける為であり、戦争敗北国「日本」の子ども達も、1949年以降、支援活動を受け、粉ミルクの支給等、大いに助けられたことである。その後、1953年に「国際連合児童基金」と名を改め、開発途上国の子ども達の長期的な支援に広げている。日本では、1955年に財団法人「日本ユニセフ協会」が作られた。その後、1964年に日本への支援活動が終わりを告げられた。以後、1965年ノーベル平和賞受賞、1990年「子どものための世界サミット」が開かれた。2002年「国連子ども特別総会」が開かれる。2011年、公益財団法人「日本ユニセフ協会」となる。2021年「ユニセフ」創設75周年を迎えた。日本は「ユニセフ」から給食用の粉ミルクや、洋服用の綿、薬、等々の支援を1964年(東京オリンピックの年)まで約15年間、当時のお金で65億円にも上る支援を受けている。また東日本大震災では、ユニセフの支援を受け、日本ユニセフ協会が支援活動を行った。今後も同協会の活動に注目し、私達も何らかの応援をしていきたいものである。



3年1組のみなさん

### ユニセフ感想文

ユニセフは聞いていましたが、中身は初めてです。日本大百科全書で改めると、国連児童基金 UNICEF、世界の子どもたちの生命と健やかな成長を守るために活動している国連機関。設立は1946年12月11日(私より2年前)。活動は何百万人に及ぶ途上国の児童の栄養不足・病気・低識字率から長期的児童養護計画への援助を行っております。活動資金の3分の2は各国政府からの自発的募金(きょきん)で、残りは民間の寄付、とユニセフ・カードの売り上げなどである。本部はニューヨークで190以上の国と地域に援助している。特に紛争地域への援助が多い。

地球の食卓講座では、ブータンの人々が皆笑顔で写っており、物やお金では買うことが出来ない、心豊かな暮らしがあると我々に教えているようでした。環境や生活が厳しくても心は豊かである。24カ国の統計一覧で、先進諸国が高い数値を示している項目は、15歳以上の識字率・平均所得・医療費・糖尿病人口・肥満人口など、なるほどと思います。しかしブータンの笑顔が対照的です。本日よりユニセフを意識するようになりました。



3年2組のみなさん